

議員生活六年目 責任と実行 2012年活動報告

■新年度委員会

新年度の委員会が決定し、常任委員会で、『都市建設委員会』委員に選任されました。都市開発や道路・住宅の整備に加え、町の緑化・美化・交通安全を含めた町づくりに取り組みます。

《視察》

七月十九・二十日、滋賀県を訪れ視察しました。近江八幡市では風景づくり事業について説明を受け、伝統的風景計画区域と水郷風景計画区域を見学しました。大津市では、中心市街地活性化施策について説明を受け、起こりうる問題などについて質問し意見を交わしました。



建築人に与えた影響を大なる都市計画に与えた。日本に伝えた。メンターームを日本に伝えた。メンターームを日本に伝えた。

一方、特別委員会では、『災害対策調査特別委員会』委員に選任されました。ゲリラ豪雨や地震などさまざまな災害にどう対処するべきか、その危険性を知ったうえで、何ができて何が不足しているかを調査し研究を進めます。

《視察》

十二月九日、緑小学校の防災用深井戸、中台サンシティの防災備蓄倉庫、中台三丁目地区の広域避難場所、特別養護老人ホーム若木ライフの福祉避難所、板橋三中の防災備蓄倉庫と備蓄物資を視察し、説明を受けました。

■総括質問

三月十五日に行われた第一回定例会の総括質問において、あずまお議員の質問に対し、区長から次のような答弁がありました。

【区長】今後、適正規模に限らず色々な教育の議論の中で空間情報の有効活用を進める。

【質問】住民主体の防災マップを広める上で災害情報のデジタル化は喫緊の課題。至急検討と防災訓練への活用を。

【区長】GISで災害情報をデータ化する集大成が地域防災マップの作成。作成環境の整備と情報提供を進め、地域の防災力の向上につなげる。



プロジェクトを用いた質疑は議会初の試み

【質問】所管を超えた情報共有が今後の課題解決のポイント。産業、都市整備、交通などが統合した政策展開へ利活用を。

【区長】具体的かつ有効な方法を検討する。また創造的な施策検討のツールとして活用する。

【質問】区としての人口政策に対する考えと将来像を示せ。

【区長】生産年齢人口の定住増加を図る。また、地政学的な位置も考慮し10年20年後を見据えたビジョンを作る。

■一般質問

十一月三十日に行われた第四回定例会の一般質問において、あずまお議員の質問に対し、区長から次のような答弁がありました。

【質問】情報発信力、情報収集力を強化するため、区の広聴広報に対する姿勢はどうあるべきか。見解は。

【区長】①職員一人ひとりの意識改革を図るとともに、ターゲットを明確にした戦略的な広報を全力的に推進していくことが必要。②既成概念にとらわれない、独創性に富んだ広報活動の推進に向け、職員の意識改革を進めつつ、組織体制を構築していく。

【質問】個人情報保護制度そのものが、健全な社会を構築することへの足かせとなっているのではないか。情報公開の確度スピードある政策の立案・実現のために。

■さまざま活動

●水の防災プログラム

七月三十日、成増小学校で行われた楽しみながら学ぶ『水の防災プログラム』をつくるためのワークショップ(ミツカン・第七回里川文化塾に板橋区の防災マップの達人として講師に呼ばれ、子供たちに成増の歴史や防災対策の説明をしました。

●阿波おどり

成増阿波踊り大会、板橋区民まつり、板橋農業まつりに参加しました。後継者の若返りが求められており、お囃子をはじめ踊り手の新規参加者を募集しています。初心者大歓迎です。一緒に楽しく踊りましょう。



●里神楽

大晦日に菅原神社で行う年越神楽。一月の板橋区賀詞交歓会、六月の里神楽の夕べ、十月の赤塚二中における里神楽体験教室など、一年を通して伝統芸能・里神楽を広める活動を行っています。獅子舞だけでなく、ナレーションも務めるようになりまし。引き続き、後継者の育成に尽力していきます。



及び個人情報保護審議会での様々なルールや規則について抜本的な見直しを。

【区長】個人情報保護しながら政策に有効活用する方策については、情報公開及び個人情報保護審議会などでの意見を聞きながら検討する。

文化活動の主体である区民への支援を

【質問】多くの区内文化団体は情報発信が苦手である。文化団体の作成したホームページを、区や財団のものと同じくさせられないか。

【区長】区や文化・国際交流財団のホームページとリンクするなど、活動をより活性化させるための情報提供の面から支援を進めていく。

区民の隠れた功績を把握せよ

【質問】区民文化部は区民文化栄誉賞において、区民の功績の把握と奨励に努めよ。

【区長】区民文化国際栄誉賞などの顕彰制度や募集案内について、より一層の周知に努めることにより、区民の功績の把握と顕彰を図れるよう、顕彰制度を実施している板橋区文化・国際交流財団にも働きかける。

このほか、公共財産の今後のあり方教育委員会について質問しました。



本会議で質問するあずまお議員

●多分野における活動

東京青年会議所板橋区委員長を務めた2012年は、さまざま活動に参加し、多くの貴重な経験を積むことができました。国際交流から復興支援事業に至るまで、新しい分野に活動範囲を広げることとなりました。

●台湾板橋区との交流活動

大きな成果をもたらしたのは、台湾板橋区との交流活動です。その後も積極的に交流活動を続け、自民党東京都連青年部としても台湾を訪問することができました。

●オリンピック招致活動

十一月十一日に新宿アルタ前の特設ステージで行われたオリンピック招致イベントでは、オリンピック選手とのパネルディスカッションに参加しました。国民の支持が薄いとされている東京のオリンピック開催実現に向けて、人と会うことの多いあずまお議員は、日々、呼びかけと署名活動を続けています。

☆ご報告☆

八月十二日、長男が誕生しました。一家の主として、父親として、その責任の重さを受けとめて今まで以上に気を引き締めて参ります。

いまあらためて「家族」「家庭」のありがたさを学びます。子育てにも積極的に参加して、親の視線・子供の視線で物事を考えます。そしてそれらを区政に活かす、私たちの安全な暮らしへと反映させていきます。

緑のカーテン

ゴーヤプロジェクト・2012レポート

環境保全活動の一大事業として定着してきた緑のカーテン・ゴーヤプロジェクトが2012年も多くの方に参加いただき、ゴーヤの収穫とともに大きな効果をえました。

天候不順により実りの遅れが目立ったものの、直射日光を遮ってくれるカーテンは立派に育ち、町のあちこちが緑で埋め尽くされる光景を目にすることができました。次のシーズンも継続してぜひ一緒に取り組みましょう。

■ゴーヤ収穫祭・2012

八月二十日、恒例のゴーヤ収穫祭がホテルカデンツア光が丘で開催され、地元成増で収穫したゴーヤをふんだんに使った料理を満喫しました。食後は、歌手の優木みなみさんによる歌のステージが繰り広げられ、懐かしい昭和の名曲とともに楽しくにぎやかなひとときを過ごしました。最後には、田中晃三先生が作詞を手掛けた『天神音頭』をみんなで歌って踊って夏の暑さを吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せ、グラウンドファイナルとなりまし



上半期活動報告



みんなで天神音頭

緑のカーテンコレクション・2012

